

2. 協議会の取り組みによる成果（阿蘇草原再生への貢献）

今回提出された活動結果報告から、利用・維持管理継続による草原再生への貢献度を検証しました。

①放牧・採草利用への貢献

●採草により守られた面積：約25ha

平成26年度の活動結果報告による採草利用面積は25ha。今回、草原再生オペレーター組合による「未利用草原の再生プロジェクト」の活動計画の提出がなかったことが大きく影響しており、前年度から48.2ha減少していますが、報告されている以外にも多くの協議会構成員の牧野組合などにより、採草利用が行われています。

（関連プロジェクト）

No.	事業名・活動名	採草面積(ha)
13	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅡ～放置人工林伐採による生物多様性豊かな草原の再生～	15
25	野草堆肥を利用した農産物の流通拡大にむけた活動	10
	合計	25

No.は活動報告の番号(以下同じ)

②維持管理面での貢献

●協議会構成員の牧野組合等が維持管理する牧野面積：約15,252ha

●協議会構成員の牧野組合等による野焼き面積：約11,376ha

平成26年度は、新たに構成員として1牧野組合が加入しました。これにより、構成員の牧野組合により守られる草原面積は約15,252ha、前年度と比較して159ha増加し、阿蘇郡市内の牧野総面積21,986haの69.4%が構成員により維持管理されています。

また、協議会構成員の牧野組合等による野焼き面積は約11,376haに及び、これは阿蘇郡市内の全体の野焼き面積の69.6%にあたります。

●樹林地除去等により草原が復活した面積：約8.35ha

小森原野組合の荒廃原野の再生事業及び、環境省の小規模樹林地除去事業により、約8.35haが草原として復活しました。

●作業道等整備事業により草原維持管理の作業負担が軽減した牧野組合の面積：約436ha

牧野カルテに基づく作業道整備については、3牧野組合で合計1,835mの整備が行われました。これにより、作業負担の軽減が図られた牧野組合の面積は合計436ha、平成18年度からの累計は5,167haになります。

（参考）協議会加入の牧野の面積

平成23年阿蘇草原維持再生基礎調査(熊本県)をもとに独自のデータを追加して作成

	協議会加入								計(A)	阿蘇郡市内計(B)	割合(A/B)
	阿蘇市	小国町	南小国町	産山村	南阿蘇村	高森町	西原村	山都町			
牧野数	39(※58)	4	8	4	17	12	4	4	92(※111)	191	48.2%
牧野面積(ha)	9,137	506	1,418	570	2,072	670	730	149	15,252	21,986	69.4%
(内訳)	野草地	5,908	474	1,135	502	1,278	352	569	10,348	15,690	66.0%
	牧草地	2,372	32	130	65	398	284	61	3,352	4,245	79.0%
	樹林地	847	0	153	3	396	34	100	9	1,542	2,051
野焼き面積(ha)	7,078	480	1,305	453	861	553	600	46	11,376	16,354	69.6%

※は阿蘇市19団体を加えた加入数(19団体:黒川区長会15、財産区管理会2、農事組合法人中無田組原野管理組合 北山レストラン、西湯浦草原再生委員会)

③支援ボランティア等の活躍

●野焼き・輪地切り等の維持管理作業へのボランティア参加：延べ2,093人・日

●ボランティア等が支援した野焼き面積：約5,753ha

ボランティア参加数延べ2,093人のうち阿蘇グリーンストックによる派遣数は1,955人で、昨年度の派遣数2,216人に比べ減少しています。初心者研修会での体験野焼きの中止や大人数のボランティア派遣要請数の減少などが派遣数に影響していますが、実質的なボランティアの参加人数は変わりなく、多くの方による支援が継続しています。

(関連プロジェクト)

No.	事業名・活動名	野焼き面積(ha)	人数(人・日)
3	滝水牧野と地域の交流会	(15)※	(14)※
5	原野(やま)の恵み、先人の知恵を 木落原野の未来へ	(737)※	30(95)※
6	阿蘇あか牛草原再生事業	(15)※	(21)※
8	秋の輪地切り支援ボランティア活動	5,500	986
9	春の野焼き支援ボランティア活動		969
13	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅡ～放置人工林伐採による生物多様性豊かな草原の再生～	15	55
23	草原環境学習及び草原維持活動	238	53
	合計	5,753	2,093

※ ()内の面積・人数は、No.8,9「輪地切り・野焼き支援ボランティア活動」と重複

④阿蘇の草原への理解の拡大

●草原環境学習関連の活動への参加：延べ19,810人

小学生から一般の方々まで、草原環境学習やエコツアー等への参加人数は延べ19,810人。小中高生が参加者の主を占めますが、草原を活用したエコツアーをはじめ、一般参加を対象とするプロジェクトも増加しています。

(関連プロジェクト)

No.	事業・活動名	参加人数(人)		
		小中高生	一般	合計
13	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅡ～放置人工林伐採による生物多様性豊かな草原の再生～	-	80	80
14	阿蘇の火山体験学習	*	*	10,960
15	阿蘇の草原キッズになろう！ 指導者編	-	8	8
16	阿蘇の草原キッズになろう！ 秋編・野焼き編	252	-	252
17	草原の宝を守り、新たな宝を見つけよう	79(331)※1	-	79
18	阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト	444	505	949
19	ぼくたち、わたしたちの「大好きな阿蘇」ワークショップ	13	-	13
20	出前講座:阿蘇の草原を未来へつなごう	232(405)※2	-	232
22	南阿蘇ビジターセンター自然ふれあい活動	*	*	1,304
23	草原環境学習及び草原維持活動	44 ※3	-	44
24	草原を守る担い手作り、草原環境学習の推進	52	16	68
26	阿蘇エコツアー	-	2	2
27	ガイド付きクリーンウォーキング	-	8	8
28	平成26年度 阿蘇ガイド養成講座	-	66	66
29	阿蘇人(あそんもん)ツーリズムの実施	1,674	-	1,674
30	阿蘇の自然と文化の体験活動を通して、阿蘇の草原ファンを増やす	3,744	-	3,744
31	「阿蘇の自然を楽しもう！」自然ふれあいイベントの開催	-	47	47
33	阿蘇の草原スタディツアー	-	280	280
	合計	6,534	1,012	19,810

※1 ()内の人数から、No.16「阿蘇の草原キッズになろう！ 秋編・野焼き編」との重複分を除いて算出

※2 ()内の人数から、関係団体との連携プログラムを除いた参加人数を算出

※3 熊本県立阿蘇中央高等学校グリーン環境科の生徒数を記載